

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

- 佐山学びのスタイルの定着と家庭学習の充実を図るとともに、安心して学べる学習集団作りにより、確かな力を育む。
- ICTの有効な活用により、「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進する。

【現状と課題】

- 視点1 学び合いは身についてきた。自分の伸びを実感し、自信をもって自分で考える力を身に付けられるようにする必要がある
- 視点2 安心して学習できる学級づくりはできている。自ら学ぼうとする意欲を引き出す取り組みが必要である。
- 視点3 全学級で佐山学びのスタイルは定着している。校内授業研究において、さらに学び合いと振り返り、そして自信をもって、自ら意欲的に取り組む力を身に付けるための取り組みを全校共有して推進したい。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「佐山学びのスタイル」による授業改善を継続。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を目指すとともに、振り返りの充実により自分の伸びを実感し、自信を育てる。</li> <li>・ICTの活用等により、学ぶ意欲を高める工夫に取り組む。</li> <li>○家庭学習の充実を図る。</li> <li>・自主学習ノート・強化ノートの取り組みを推進する。</li> </ul>	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の子どもの心に寄り添い、安心して学べる学級集団作り。</li> <li>○子どもの頑張りを認める声かけにより誰もが満足感をもって学習できる環境づくりに努めるとともに、教育相談を充実させる。</li> <li>○児童主体の学級のルール作り等による集団作りと自尊感情の育成を図る。</li> </ul>	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習・生活習慣の徹底</li> <li>・学習のルールや生活のルールを児童とともに作り徹底する。</li> <li>○学習環境づくり</li> <li>・ほめ誉め言葉のボイスシャワー等により、誰もが認められ、安心できる学習環境を作るとともに、花壇をはじめとする美しい学習環境づくりを推進する。</li> </ul>

その他 取組事項

課題のある児童に対しては個別の指導計画を作成し、きめ細かな指導・支援を進める。  
放課後学習や個別指導等による様々な学習形態の工夫と機会の拡充を図る。

取組の評価

※プランに示してある数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体				
視点1	佐山学びのスタイルの定着。	全国学習・学習状況調査において全国平均を上回るとともに、学習の振り返りの充実により伸びを実感できる授業改善を全学級で行う。		
視点1	家庭学習の充実	低学年30分・中学年45分・高学年60分以上の家庭学習を行う（生活アンケート等により検証する）		
視点2	安心して学べる学級集団作り	子どもと共に作る学級のルールとその掲示 管理職による毎日の巡回 教育相談週間の設定と児童アンケートを実施し検証する）		
視点2	教育相談の充実	教育相談活動を充実し、早期対応により不登校児童を0人にする。 学校が楽しいと思う児童100パーセントを目指す（アンケートにより検証）		
視点3	学習や生活のルールを共有し徹底する	学習のルール（話し方・聞き方・姿勢・学習用具等）生活のルール（挨拶・清掃・後始末・等）の指導の徹底 職員会議等での共通理解や管理職の巡回による意識化の定着		
視点3	FBC学校花壇とその活動の推進 美しい学習環境の整備	FBC学校花壇では入賞をめざす。 常に美しい学習環境を保つ。		

評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

今年度の取組の課題

--